

SemiTest 2027

半導体テストサミット

次世代テスト技術：設計・製造・品質保証の最前線

開催日 ： 2027年2月2日(火)～ 2月4日(木)

最終申込締切： 2027年1月6日(水)

名称	SemiTest 2027 半導体テストサミット - 次世代テスト技術：設計・製造・品質保証の最前線 -	申込者数
開催日	2027年2月2日(火)～2月4日(木)	プログラム委員長
最終申込締切	2027年1月6日(水)	
想定視聴者	1. 半導体デバイスの設計、研究開発、プロセス、テストに携わるエンジニア 2. 半導体製造装置、半導体試験測定装置・材料の業界に携わるエンジニア 3. 製造、自動車、データセンターなどのユーザーインダストリーに携わるエンジニア	
ご協賛プラン	セッションプラン 100万円～	後援
イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント	
主催・企画 告知・集客		
協力		
運営	アイティメディア株式会社	

想定1,500名

※過去開催の実績値に基づく想定値のため、実際には開催するテーマ数などに応じて前後する場合がございます。

京都工芸繊維大学 教授
小林 和淑 氏

- 一般社団法人日本電子デバイス産業協会
- 一般社団法人日本半導体製造装置協会
- 一般社団法人日本非破壊検査協会
- 一般社団法人日本OSAT連合会
- チップレット集積プラットフォーム・コンソーシアム
- 一般社団法人パワーデバイス・イネープリング協会
- 公益社団法人精密工学会 プラナリゼーションCMPとその応用技術専門委員会
- 量子イノベーションイニシアティブ協議会
- 一般社団法人日本機械学会（催事欄）
- 公益社団法人日本材料学会
- 公益社団法人計測自動制御学会
- 一般社団法人日本シミュレーション学会
- 日本EDAベンチャー連絡会
- 一般社団法人日本ロボット工業会
- 一般社団法人ソフトウェア協会
- 一般社団法人 スマートプロセス学会
- 一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会
- 一般社団法人日本量子コンピューティング協会
- 一般社団法人AI・IoT普及推進協会
- 一般社団法人 日本ディープラーニング協会
- 一般社団法人 量子技術による新産業創出協議会（Q-STAR）
- 日本信頼性学会

※ 変更になる場合がございます

予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

SemiTest 2027 半導体テストサミット

- 次世代テスト技術：設計・製造・品質保証の最前線 -

半導体デバイスは、情報通信、モビリティ、ロボティクス、エネルギー、医療など社会のあらゆる基盤を支える重要技術であり、その品質や信頼性、安全性の確保はますます重要性を増しています。さらに、半導体製造プロセスの微細化や高集積化、高密度化など、**プロセスとデバイスが進化**する中、設計と製造における**評価・試験・テストはより高度**になっています。さらに、昨今は同分野におけるAI技術の活用にも関心が高まっています。

本イベントは、半導体デバイスの品質・信頼性・安全性を確保するために不可欠な「**試験・検査・計測**」に焦点を当て、**研究開発から設計、製造までの各プロセスに必要な検査／テストの最新技術と動向**をお伝えします。



EE Times Japan編集長
村尾 麻悠子

3日間の中で3つのテーマをご用意。日程に関係なく、ご希望のテーマ・セッション枠でご協賛いただけます。

デジタルイベント協賛予約システムからご予約の際は、備考欄へご協賛予定のテーマをご入力ください。 ◆予約システムURL >> [こちら](#)

テーマ**1** | 半導体テスト技術

テーマ**2** | 先端材料

テーマ**3** | 製造工程／パッケージ

キーワード

産・官・学・メディアで構成されるプログラム委員会を中心に構成

- # 半導体設計／半導体製造
- # AI活用
- # テスト
- # 評価／検査
- # シミュレーション
- # 品質管理

- **コンテンツ** | プログラム委員会が選定したキーパーソンやエキスパートの基調講演
- **外部団体連携** | 半導体利活用分野からの誘致や、地方自治体との連携
- **集客活動** | EE Times Japanでの集客を中核に、後援団体の会員等への告知も実施

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

委員長

京都工芸繊維大学 教授

小林 和淑 氏

委員

京都工芸繊維大学 教授

新谷 道広 氏

委員

京都工芸繊維大学
特任専門職

廣田 良浩 氏

委員

東京大学大学院 工学系研究科附属
システムデザイン研究センター(d.lab)
特任講師

浅見 幸司 氏

委員

ルネサスエレクトロニクス株式会社
エンジニアリンググループ
EDA技術開発統括部
デジタルバックエンド設計技術部
プリンシパル エンジニア

松嶋 潤 氏

委員

株式会社日立製作所
研究開発グループ
計測インテグレーション
イノベーションセンタ
ナノプロセス研究部 主任研究員

森下 英郎 氏

委員

シーメンスEDAジャパン株式会社
技術本部マネージャ

杉浦 央樹 氏

委員

東京エレクトロン株式会社
テストシステム部グループリーダー

八壁 正巳 氏

委員

株式会社アドバンテスト
CEO
OfficePrincipal Strategist

田中 玄一 氏

委員

テラダイন株式会社
営業部シニアフィールド
プロダクトスペシャリスト

藤石 高志 氏

委員

Rapidus株式会社
エンジニアリングセンター
技術開発統括部
システムインテグレーション開発部
シニアエンジニア

柴田 幸雄 氏

委員

ソニーセミコンダクタ
マニファクチャリング株式会社
デバイス技術部門 データサイエンス技術部
技術4課 統括課長

栄木 誠 氏

時間	枠時間	2月2日(火)	2月3日(水)	2月4日(木)
10:00～10:40	40分	開幕記念講演 1-1	開幕記念講演 2-1 NTT先端集積デバイス研究所 所長 寺田 純 氏	開幕記念講演 3-1 先端材料 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 ナノアーキテクトニクス材料研究センター 半導体材料研究共創ハブ 共創ハブ長 理事長特別補佐 知京 豊裕 氏
10:50～11:20	30分	スポンサーセッション 1-1 DAY1-1-S101	スポンサーセッション 2-1 DAY2-1-S201	スポンサーセッション 3-1 DAY3-1-S301
11:30～12:10	40分	招待講演 1-2 半導体テスト技術 株式会社ソシオネクスト 開発グループ テスト開発部 開発部長 小澤 徹 氏	招待講演 2-2 製造工程／パッケージ 一般社団法人 日本OSAT連合会 事務局長 林 力 氏	招待講演 3-2
13:00～13:40	40分	基調講演 1-3 半導体テスト技術 ニデック株式会社 常務執行役員副最高技術責任者 半導体ソリューションセンター 所長 兼 半導体インテリジェンス部長 大村 隆司 氏	基調講演 2-3 半導体テスト技術 ルネサスエレクトロニクス株式会社 統括部長 岩畔 一之 氏	基調講演 3-3 製造工程／パッケージ キオクシア株式会社 四日市工場 第二生産技術部 検査計測技術担当 谷崎 広幸 氏
13:50～14:20	30分	スポンサーセッション 1-2 DAY1-1-S102	スポンサーセッション 2-2 DAY2-1-S202	スポンサーセッション 3-2 DAY2-1-S202
14:30～15:10	40分	招待講演 1-4 半導体テスト技術 九州工業大学 大学院情報工学研究院 電子情報通信工学研究系 教授 温 曉青 (Xiaoqing Wen) 氏	招待講演 2-4 愛媛大学 愛媛大学大学院 教授・副学長・デジタル情報人材育成機構長 高橋 寛 氏	招待講演 3-4 東京科学大学 工学院 電気電子系 特任教授 堀川 剛 氏
15:20～15:50	30分	スポンサーセッション 1-3 DAY1-1-S103	スポンサーセッション 2-3 DAY2-1-S203	スポンサーセッション 3-3 DAY2-1-S203
16:00～16:40	40分	招待講演 1-5 半導体テスト技術 米国アリゾナ州立大学 教授 Sule Ozev 氏	招待講演 2-5 製造工程／パッケージ Fulton Professor of Microelectronics Director, ASU Center for Semiconductor Microelectronics Krishnendu Chakrabarty 氏	クロージングキーノート 製造工程／パッケージ 株式会社レゾナック・ホールディングス 執行役員 半導体材料研究開発統括 阿部 秀則 氏
16:50～17:20	30分	スポンサーセッション 1-4 DAY1-1-S104	スポンサーセッション 2-4 DAY2-1-S204	スポンサーセッション 3-4 DAY2-1-S204

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。



ご協賛企業様、代理店様から直接デジタルイベントへのご協賛をお申込みをいただけるようになりました！

日程に関係なく、ご希望のテーマ・セッション枠でご予約いただけます。

備考欄へご協賛予定のテーマをご入力ください

ご予約はこちらから▶ https://techlive-itmedia.resv.jp/direct_calendar.php?direct_id=144

ご協賛枠の予約受付完了までの流れ ※ 従来通り弊社営業担当経由でのご予約も可能です



カレンダーの見方



① ご利用ガイド

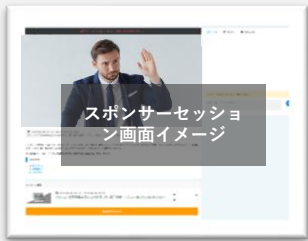
- ご協賛を決定いただいたお客様
 - ・ 順次入稿シートをご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。
- 仮押さえ有効期限について
 - ・ ステータスが仮押さえの枠の期限は、お申込みから14日間です。期限を超過すると枠は自動でキャンセルされます。
 - ・ ひとつのイベントにつき、予約者が同時に予約できるのは最大で3枠までとさせていただきます。
 - ・ 4枠目の予約を希望される場合は、すでに予約されている3枠のうち1枠をキャンセルしていただく必要があります。
 - ・ 他の企業様がお申込み、仮押さえをされる可能性があります。必要数だけの仮押さえをお願いいたします。
 - ・ 仮押さえから本予約へのステータス変更はシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。
- キャンセルに関して
 - ・ キャンセルはお問い合わせフォームまでご連絡ください。担当者がご対応いたします。
 - ・ イベント企画書に掲載のキャンセル規定に基づき、キャンセル料が発生する場合がございます。
- 予約の変更に関して
 - ・ 予約完了後送られてくる予約受付メールに、URL、予約番号、確認コードの記載がございます。そちらからシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

	セッションプラン		
	ダイヤモンド	プラチナ	シルバー
スポンサーセッション	30分	30分	30分
セッションアンケート	●	●	●
資料配布	●	●	●
視聴者リード（全件納品）	●	●※※	—
視聴者リード（上限あり） アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象	—	—	●※※ (上限あり)
協賛テーマ申込者リスト（上限あり）	● (上限あり)	● (上限あり)	—
全申込者リスト（上限あり）	● (上限あり)	—	—
スポンサーロゴ掲載	●	●	●
事前アンケート結果	●	●	●
開催報告書	●	●	●
Pipeline Dashboard	●	●	●
リスト件数（すべてのリスト合計数） ※リスト件数は想定数です	1,500件想定	500件想定	150件想定
備考	※2,000件上限 ※視聴者リードは上限を超えても全件納品	※700件上限 ※視聴者リードは上限を超えても全件納品	※200件上限
	※申込締切日までの協賛状況によって、プランは変更になる可能性があります		
料金（すべて税別・グロス価格）	¥2,800,000	¥1,500,000-	¥1,000,000

※※ プラチナプランおよびシルバープランの視聴者リードに関して
・視聴者リードはアーカイブ開始後2日目までが納品対象となります。納品済みのリードは、アーカイブ終了日まで期間中のアクション（視聴・資料閲覧等）に応じて随時更新されます。
・視聴者リードには、セッションアンケート回答や資料閲覧のみ行ったリードも含まれます

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできるスポンサーセッション枠をご利用可能。



| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施。
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせで自由に設定可能。
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示。

※セッションアンケートの実施はLive配信時のみとなります

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能。
- 配布点数：
ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能。

| 視聴者リード

- 貴社セッション視聴者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報

※DL可能
※視聴者リードには、セッションアンケート回答や資料閲覧のみ行ったリードも含まれます。

| 協賛テーマ申込者リスト

- 協賛テーマ申込者のリード情報をご提供。
 - ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・関与など
- ※事前申込時に該当テーマを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストが納品対象です。

| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能。
 - 講演間に表示する幕間スライドに貴社のロゴを掲載。
- ※イベントによって幕間スライドでのロゴ掲載を行わない場合がございます。

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供。
- ※アイティメディア側で設定のため個別設定不可。

| 開催報告書

- アイティメディアで参加者へアンケートを実施。集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供。
- 個人情報は含まない集計データでの提供。

| Pipeline Dashboard

- ナーチャリング支援の新ツール（無償）
 - “イベント終了後に生まれる商談機会”を見逃さないための仕掛けです
 - 詳しくは資料もご覧ください
- ※ サービスガイド
<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-09-24/2d2rxv2>
- ※ サービスサイト
https://promotion.itmedia.co.jp/service/cc/pipeline_dashboard

※画像はイメージです。

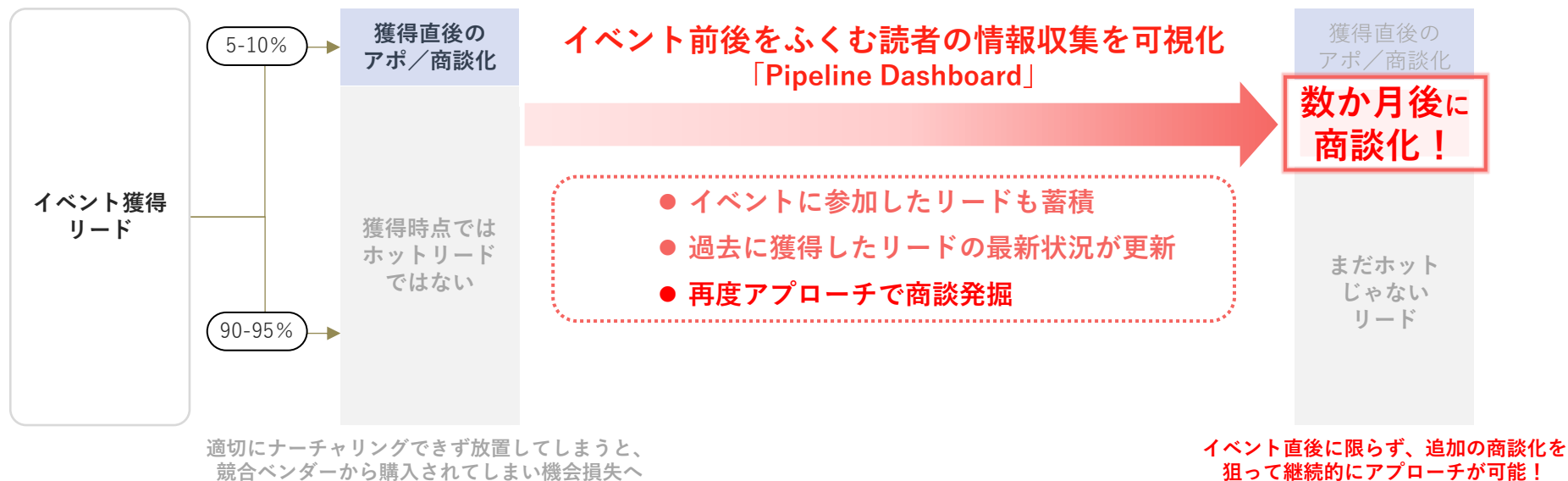
“イベント終了後に生まれる商談機会”を見逃さない

これからは、獲得してすぐにアポや商談にならなかったリードも無駄になりません。

資産として蓄積され、納品後の動きもダッシュボードに反映されます。

アイティメディアで情報収集してナーチャリングされたリードに再度アプローチをすれば、効率的な商談発掘に繋がります。

イベントにご協賛いただくと「Pipeline Dashboard」も無料で利用可能



実績

約1年前に開催した
イベントのリード

1年経過した「今」の状況

情報収集を継続中

前回参加者の約48%

自社導入に
関与する

約43%

導入予定が
1年以内

約8%

※2026年6月時点

イベント協賛にまつわる課題（リードから商談に繋がらない、ナーチャリングで成果が出ない）を解決

貴社のスポンサーセッション動画は、TechLIVE by ITmediaにも掲載いたします

① デジタルイベント開催

スポンサーセッション動画



イベント終了後
TechLIVEへ転載

② TechLIVEへの掲載

TechLIVE by ITmedia



③ ITmediaの各媒体から誘導を実施

④ 視聴者リードのご提供も可能

掲載動画イメージはこちら

TechLIVE
by ITmedia
<https://techlive.itmedia.co.jp/>

「今を動かすテクノロジー」を 深掘りする動画プラットフォーム



専門編集者による番組コンテンツ企画



テクノロジーの現場を映像で分かりやすく深掘り



視聴者リードの獲得が可能

詳細はこちら

- **TechLIVEへの講演動画掲載について**
 - 掲載をご希望されない場合は、イベント協賛時に、事務局担当者までご連絡ください。
 - ご連絡がない場合は、下記の内容に従い掲載いたします。
- **掲載対象動画**
 - 当社主催デジタルイベントでご講演いただいたスポンサーセッション動画（産業DXパートナーシップ系は対象外になります）
- **掲載開始時期**
 - ご協賛いただくイベントが終了し次第順次（掲載タイミングにつきましては、当社に一任いただきます）
- **掲載費用**
 - 無料（掲載にあたり、追加費用は発生いたしません）
- **動画の取り扱い**
 - 原則、イベント開催時に配信した動画をそのまま掲載いたします（動画本編の編集等はいたしません）
 - 一部の動画では視聴者に分かりやすい動画になるよう、冒頭にダイジェストムービーや、編集部による解説動画等を挿入する場合がございます。（対応の有無および内容は当社に一任いただきます）
 - **動画タイトル・紹介文・サムネイル画像について**
 - 動画タイトルや概要文については、貴社講演の情報をもとに、視聴者に伝わりやすいよう当社で変更する場合がございます。
 - 動画のサムネイル画像については当社に一任いただきます。
 - 掲載した動画は、基本的に期間制限なくTechLIVE上に掲載されますが、取り下げをご希望の場合は申請いただくことで掲載を終了することが可能です。
- **動画の視聴について**
 - オープニングはどなたでも視聴可能ですが、最後まで視聴するにはアイティメディアID会員に登録が必要です。
- **視聴者のリード情報について**
 - 視聴者データ（リード情報）のご提供はございません。
 - リード情報の納品をご希望の場合は、別途商品をご用意しておりますので営業担当にお問い合わせください。

貴社セッションmp4動画納品

閉幕3か月後まで

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式。
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

セッション収録サポート

開催18営業日前まで

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供。
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の18営業日前までのお申込み必須。
- 最大講演者数は3名まで、講演者数に関わらず収録費用に変動はございません。
- 撮影パターンの詳細は資料をご確認ください。
- mp4納品を含みます。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2026-08-04/2d42c12>

料金 **¥300,000～**

リード情報×主催アンケート回答情報付与

開催日1週間前まで

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品。
- リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
- 開催日1週間前までのお申込み必須。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000～**

納品リストへのABMデータ追加

開催日1週間前まで

- アイティメディアでのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn>

料金 **¥200,000**

リードカスタム納品

開催3営業日前まで

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品。
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品。
- お申込みまでに納品条件の確定が必要です。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金はリード件数によって変動

アフターフォローセミナー

開催日1.5カ月前まで

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

料金 **¥2,500,000**

テレマーケティング

開催日3週間前まで

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数：50件～
- 期間：3～4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000～**

ブランディング施策

開催2か月前まで

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示。
- ショート動画（1分以内を推奨、最長2分まで）の埋め込み。
- フローティングバナー情報掲載。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvv>

料金 **¥500,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

セッション動画活用リード獲得

閉幕2か月後まで

- 講演動画や資料をTechFactoryに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性 & 件数を保証したリード獲得】が可能。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvr>

建設業向け：¥1,300,000
製造業向け：¥1,100,000

料金 **¥900,000**

パネルディスカッションパッケージ コンテンツ二次利用

開催日3週間前まで

- 弊社にお任せいただいたパネルディスカッションパッケージで作成したコンテンツを主催イベントに再利用。
- 通常30分間のスポンサーセッション枠を2枠ご提供。過去制作した60分間のコンテンツをそのままお届け。
- 新規でコンテンツ制作を行わずに更なるリード獲得が可能。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-17/2czbqt5>

料金 **¥3,000,000**
価格・割引率はご協賛イベントによって変動いたします。

レポート記事配信（ターゲットへプッシュ型で配信）

記事配信希望日の6週間前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。（アーカイブ掲載あり）
- 業種、職種、企業名など狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

タイアッププッシュ ターゲティング & ABM 15,000通～

料金 **¥1,000,000～**

カスタムパーミッション掲載

開催3営業日前まで

- 貴社の規定に合わせたパーミッションを掲載
- 下記の3パターンでカスタムが可能
 1. チェックボックス設置（1個/社）
 2. パーミッションテキスト追加
 3. プライバシーポリシーURL併記（最大5本）
- 納品リストのカスタムは別途オプション
- 主催者が提示するパーミッション文言は変更不可

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-06-02/2d2cgrk>

料金 **¥50,000～**

レポート記事掲載（広範に読者を記事へ誘導）

掲載希望日の1.5か月前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- モノづくり・建築などの産業テクノロジー関心層が多く集まるメディア横断でタイアップ記事への誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvk>

産業テクノロジーメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証

料金 **¥1,200,000**

CM動画放映スポンサープラン

開催日3週間前まで

- 各基調講演(主催者セッション)開始前の待機時間に、視聴者に対して貴社支給動画を放映。
- イベント視聴者に対して、映像と音声を活用して自社サービスを繰り返し訴求することで製品やサービスの認知度向上につながります。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-08-05/2d122lq>

料金 **¥300,000**

セッションパンフレット作成（製造・建設関連）

開催日1週間前まで

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載（2,000PV保証）
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

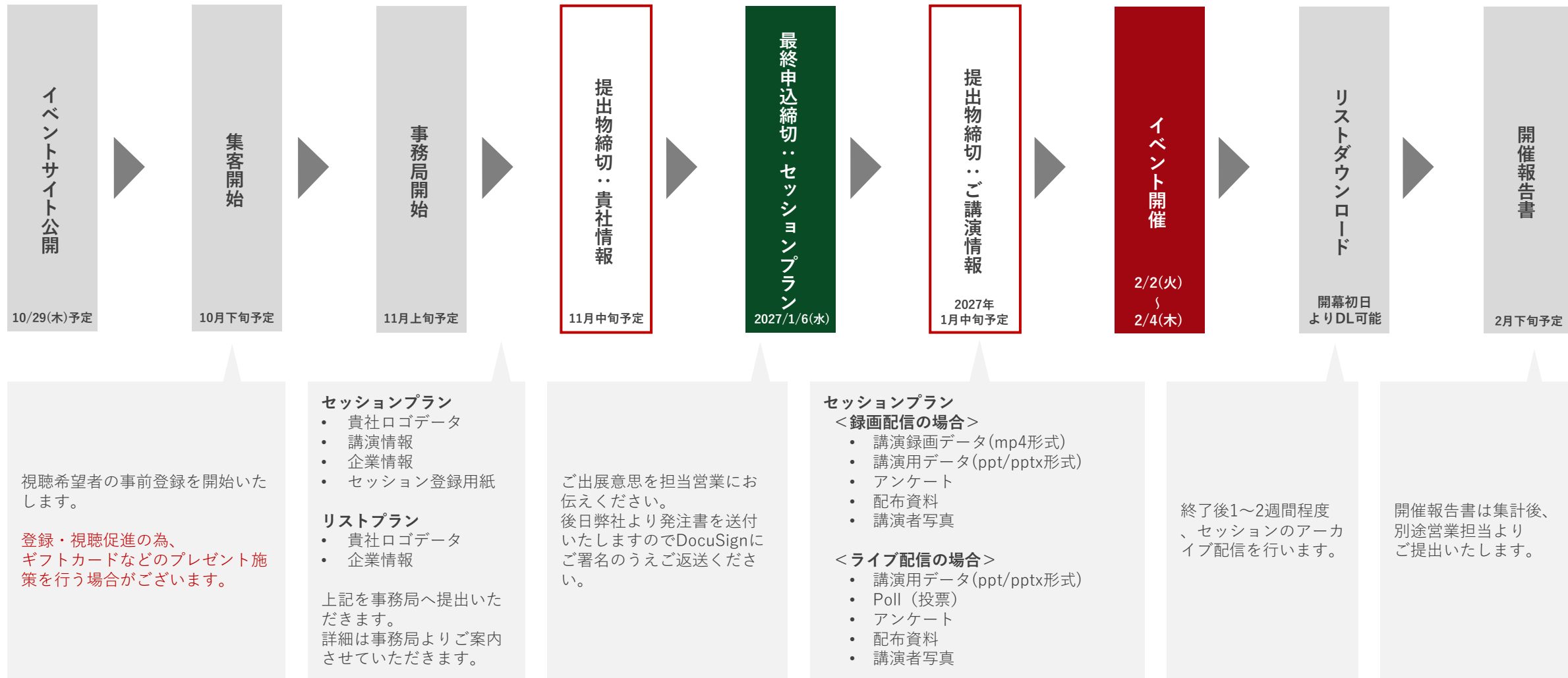
※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvv>

産業テクノロジーメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証
パンフレット制作（PDF/x納品）

料金 **¥1,500,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

確定したスケジュールはイベント事務局よりご連絡いたします。



※予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性があります。あらかじめご了承ください。

キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル
登録用紙提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル：契約金額の50%
開催日40日以内のキャンセル：契約金額の100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）してしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れの現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが中断（停止）した場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する場合がございます。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

- 総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合
視聴者側の環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
- 総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合
配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

類似イベント過去開催実績



名称	エッジAIイニシアチブ 2026 「フィジカルAI先駆者」からの提言
開催日	2026年6月16日（火）～ 6月18日（木） ※6月30日までアーカイブ配信
対象業種	製造/FA/ロボティクス/自動車/物流・流通/ICT/ エネルギー/AIデータセンター/航空宇宙等の業種
対象職種	ハードウェア&ソフトウェア&システムエンジニア/設計 開発者/研究者/データサイエンティスト/機械学習の研究 者/半導体製造装置・材料メーカー・商社のエンジニア/ ソールベンダー等
主催	EE Times Japan
全申込者数	3,550名
視聴者数	2,769名
申込みページ	https://members13.live.itmedia.co.jp/library/MTAxMjkx?group=2606_EdgeAI
開催報告書	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2026-07-07/2d3yqqc

登壇講師

AI半導体戦略の動向

経済産業省
商務情報政策局 情報産業課 課長
南部 友成 氏

エッジAI活用の最前線ー Actcastが実現する現場変革と価値創出ー

Idein株式会社
代表取締役CEO
中村 晃一 氏

クアルコムDragonwingが切り拓くフィジカルAIの未来

クアルコムジャパン合同会社
インダストリアル・エンベデッド・IOT 事業部 製品マーケティング
大島 勉 氏

記号開発ロボティクスとフィジカルAI～新しい時代の知能の階層性～

京都大学
京都大学 大学院情報学研究所 教授
谷口 忠大 氏

Industrial AIが変える製造業のリアルタイム産業モデル化

株式会社ビイ.ビイ.コミュニケーションズ
取締役 シニアアナリスト 創業者
室屋 秀樹 氏

コンシューマデバイスを変えるエッジ/オンデバイスAI

フリーランス
ジャーナリスト
西田 宗千佳 氏

エッジから始まるフィジカルAI

エヌビディア合同会社
ロボティクス デベロッパーリレーションズ
シニアマネージャー・博士（工学）
荒井 謙 氏

「COMPUTEX & InnoVEX 2026」最前線～台湾のフィジカルAI戦略

台北市コンピューター協会（TCA）
東京事務所 駐日代表
吉村 章 氏

川崎重工のソーシャルロボットの開発方針と最新動向

川崎重工業株式会社
社長直轄プロジェクト本部 ソーシャルロボット事業戦略部 特別主
藤本 浩明 氏

End2EndロボットののためのエッジAIとデータエコシステム

早稲田大学
理工学術院
尾形 哲也 氏

AIと半導体の未来 ～次世代エッジAI半導体の可能性～

東京大学
特別教授室 特別教授
黒田 忠広 氏

ヒューマノイドで加速するAGI時代

AGIBOTJAPAN
社長兼AGIBOT東アジア本部長
張 赫 氏

Hondaに於ける、エッジAI×自動運転現状

Honda R&D Co., Ltd.
SDV開発改革室 チーフエンジニア
大館 正太郎 氏

光電融合デバイスの狙いと開発状況

NTTイノベティブデバイス株式会社
会長
佐藤 良明 氏

産業用PCでエッジAIを動かすと何が起ころか

インテル株式会社
インダストリー事業本部 シニア・ソリューション・アーキテクト
幸村 裕子 氏

RISE-A 一半導体共創コミュニティが拓くフィジカルAIー

一般社団法人RISE-A
理事
三枝 寛 氏

類似イベント過去開催実績



名称	エッジAI イニシアチブ 2025 Edge AI Everywhere：加速する技術深化と実用化の現状
開催日	2025年6月17日（火）～ 6月19日（木） ※7月2日までアーカイブ配信
対象業種	製造/自動車/物流・流通/ICT/エネルギー/航空宇宙等の業種
対象職種	ハードウェア&ソフトウェア&システムエンジニア設計 開発者、研究者、データサイエンティスト、機械学習の 研究者、半導体製造装置・材料メーカー・商社のエンジ ニア、ツールベンダー等
主催	EE Times Japan
全申込者数	3,291名
視聴者数	2,656名
申込みページ	https://members12.live.itmedia.co.jp/library/ODQyMik%253D?group=2506_EdgeAI2025
開催報告書	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-07-07/2d2h445

登壇講師

半導体産業「強い日本」を目指す半導体戦略の現状とこれから
経済産業省
商務情報政策局情報産業課 課長
金指 壽 氏

エッジAIの未来を築くArmの戦略
アーム株式会社
代表取締役社長
横山 崇幸 氏

加速する未来への挑戦：Rapidusのチップレット戦略
Rapidus株式会社
専務執行役員 エンジニアリングセンター長 工学博士
折井 靖光 氏

エッジで実現する生成AI：超低電力システムの新時代
EdgeCortex
グローバルセールス担当EVP
ティム・ヴェーリング 氏

大規模言語モデルの多様化と最適化戦略～知識の再構築に向けて～
国立情報学研究所
教授
相澤 彰子 氏

NVIDIAが見る生成AIの進化
エヌビディア合同会社
エンタープライズ事業本部 事業本部長
井崎 武士 氏

富岳NEXT: HPCとAIの融合に向けたプラットフォームへ
慶應義塾大学 理工学部 教授
国立研究開発法人 理化学研究所
計算科学研究センター 次世代計算基盤開発部門 部門長
近藤 正章 氏

AIエージェントの活用はクラウドから組み込み、そしてAI PCへ
AMD
AIプロダクトマネジメント担当シニアディレクター
Nick Ni 氏

データフローアーキテクチャが解決するAI電力問題
SambaNova Systems
アジア太平洋地域マーケティングディレクター
林 憲一 氏

エンジニアが知っておきたいAIセキュリティ
国立研究開発法人産業技術総合研究所
インテリジェントプラットフォーム研究部門 副研究部門長
大岩 寛 氏

産業用AIが直面する課題～業務やモビリティの未来に向けて
Continental Automotive
Head of AI for R&D
ヨルグ・ディートリヒ 氏

AI時代の自動運転～ティアフォーとAI技術への取り組みと活用～
ティアフォー
CTO R&Dユニット
高島 芳仁 氏

パナソニックが語るAI家電・サービスの最前線
パナソニック株式会社 ぐらしアプライアンス社
ぐらしプロダクトイノベーション本部
AI・センシング開発部 部長
宮嶋 進 氏

GPTはさらなる拡張へ～鍵は「エッジ」への浸透～
Kneron Inc.
創設者 兼 CEO
Albert Liu 氏

EE Times Japan

世界のエレクトロニクス動向が分かる総合情報メディア

■ 媒体資料

■ URL

■ PV/UB

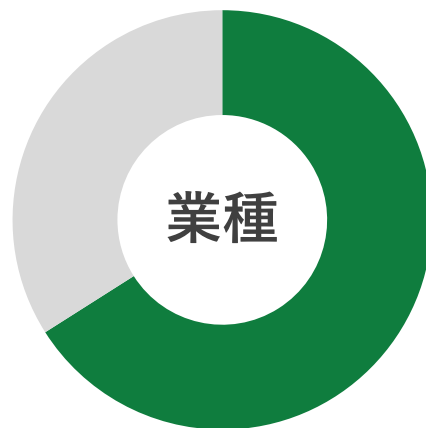
■ メールマガ配信数

<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-08-30/rftx7w>

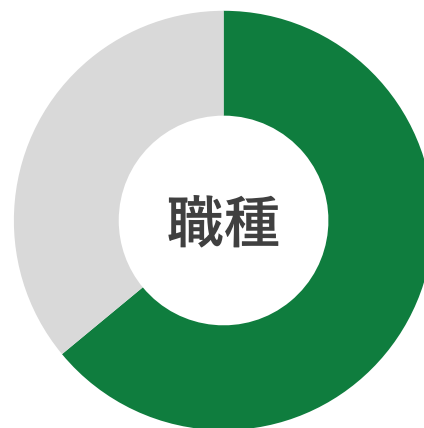
<https://eetimes.itmedia.co.jp/>

約136万 PV/月 約38万 UB/月 ※2025年12月実績

約14.2万通 ※電子機器設計／組み込み開発 メールマガジン

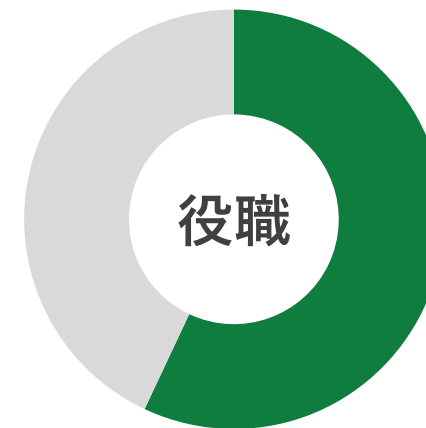


製造業 約**66%**



モノづくり関連職 約**64%**

主な内訳：モノづくり関連職 62.5%, その他 37.5%



役職者 約**57%**

主な内訳：係長・主任クラス 20.3%, 課長クラス 17.2%, 部長クラス 10.3%

※「EE Times Japan / EDN Japan」読者調査データより（2025年10月）



デジタルイベントに関するお問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル（受付：13F）

<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>

デジタルイベントの最新情報は[こちら](#)